

令和5年度

三好市立芝生小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的に学びに向かい、伝え合い高め合う授業の実践
- 自分の考えを持ち、表現できる授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
大岩教泰	校長: 武田真二郎 教頭: 大野修司 生徒指導主任: 谷脇洋平 研修主任: 三間由美 道徳教育推進教師: 高崎まほら 体育主任: 濱口久弥 特別支援教育コーディネーター: 永山睦子

校長

武田 真二郎

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題にまじめに取り組む児童が多い。 ●基礎的・基本的な知識・技能の定着、文章を読み取る力に課題がある。	・該当学年の読み・書き・計算の知識・技能の8割程度を習得することができる。 ・既習の漢字や言葉を活用して、文章を正確に読み取ることができる。	・週に1回程度、漢字や計算の小テストを行う。 ・1授業の中に、話す、聞く、書く活動の場を設定する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや思いを素直に発表する児童が多い。 ●友達の意見をしっかりと聞いて、自分の考えと比べることに課題がある	・友だちの意見を聞いて、自分の意見と同じところと違うところを考えることができる。 ・話し合い活動等を通して、課題解決する方法を考えることができる。	・ハンドサインで自分の意見を表現する機会をつくる。 ・その時間のキーワードを使って、ふり返りを書く機会をつくる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の好きな分野に対しては興味関心が高く、意欲的に取り組むことができる。 ●興味のない課題には消極的になり、チャレンジ精神の低さに課題がある。	・自らの課題を把握し、計画を立てて学習を進めることができる。 ・自ら手を挙げて、思いや考えを発表することができる。	・めあてに沿ったふり返りを児童に示し、何ができた・何ができなかったかを確認する。 ・優れた自主勉ノートを掲示し、自主学習への意欲を高める。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

